

事業概要	<p>(1) 徳島県及び近隣県において、太陽光発電、小水力発電、風力発電、木質バイオマス熱利用等、再生可能エネルギーの普及・啓発及び実践事業を地域と共に行う。事業の内容としては、再生可能エネルギー利用のコンサルティング、設計から設置までの導入支援等を行う。</p> <p>(2) 木質バイオマス熱利用については、全国の自治体や地域団体と共に活動を行う。</p> <p>(3) 再生可能エネルギーの活用を通じてCO₂の排出量を削減し、地球環境保全、機構変動防止に貢献すると共に、エネルギー費の自給や地域の活性化により地域循環型経済を実現する。当法人の活動はSDGsの複数の目標に合致する。</p>
部署	事務局
所在地	〒770-0935 徳島県徳島市伊月町1丁目32番地(徳島県土地改良会館4F)
連絡先	(電話番号)088-624-8375 (E-mail)info@tene.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>徳島地域エネルギーは、地域に豊富にある資源、特に再生可能エネルギーを、地域自身が利用することが重要であると考えている。しかし、地方にはその事業を自ら興す知識、技術や資力が十分でなく、十分な利活用ができていない。一方、都市部の企業が開発する大規模発電所(風力、太陽光)は地元の意思とは無関係に開発を進め、利益の大半を得る反面、地域には僅かしか残されない現状は大きな問題である。</p> <p>地方・過疎地域の人口減少や疲弊あるいは消滅さえ云われる中で、再生可能エネルギーは、地域の収入を増やし生活の基礎コストを減らすことができる、地域経済の振興や活性化のために重要な資源である。私たちは地域の自治体・企業・個人・団体による中小規模の再生可能エネルギー利用を推進支援することはもちろん、大規模な開発についても地域の意思に基づいて地域が計画に参加し、利益を享受することを推進する。</p> <p>また、自然エネルギー(再生可能エネルギー)の開発利用には何らかの環境影響や社会的影響はあると考えられるので、大規模な開発には持続的で配慮を尽くした計画が求められる。地域主導で総合的なエネルギー利用ゾーン調査を事前に行い、自治体・地域住民・利害者の合意が得ることが重要である。(先行事例として2015~2017年に鳴門市、WWFジャパンと実施)</p> <p>これらの努力によって、「誰ひとり取り残さない社会」の実現に一步近づくことができる。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／サーキュラーエコノミー／防災／その他(CO ₂ 排出量の削減、新たな業務と雇用の創出)
		<ul style="list-style-type: none">脱炭素 地域資源である再生可能エネルギーによる電力、熱の自給に関して、運営を含めたシステムの導入支援(「自者の特徴」の項に具体的に記載した。)農林水産業・地場産品 木質バイオマスボイラーの燃料に間伐材や未利用材を使用し、森林整備に貢献。サーキュラーエコノミー エネルギーを地域で調達することにより、エネルギー費や経費・人件費の地域循環が実現する。当法人で実施した太陽光発電、小水力発電、木質バイオマス熱利用は、全て地域資本と地域業者に導入、管理されている。防災 山林の適正な利用と整備により、水害等の災害リスクが減少する。その他(CO₂排出量の削減、新たな業務と雇用の創出) 「自者の特徴」の項に具体的に記載した。 <p>再生可能エネルギーによる地域の自立と活性化は、SDGsの基本理念である「誰ひとり取り残さない」によく合致すると考えている。</p>
	URL	http://tene.jp
上記ソリューションを提供できる地域について		全国(木質バイオマス熱利用について) 徳島県及び近隣県(全ての再生可能エネルギー) 徳島県及び近隣県の市町村(全ての再生可能エネルギー)

自者の特徴

[来歴]

徳島地域エネルギーは、産官学民で構成する「徳島再生可能エネルギー協議会」を母体とし、2012年に発足した。以来、一貫して徳島県にベースを置いて再生可能エネルギーの普及啓発活動を行っている。また、自らも再生可能エネルギー事業のコンサルティングや導入支援を行い、自社所有太陽光発電所を所有している。(添付資料1)

[導入実績] これまでに導入した再生可能エネルギー

・太陽光発電所導入

2011年から導入支援を開始し、これまでに徳島県内で設置した出力の合計は15 MWである。そのうち自社所有発電所は約1,500 kWである。



・コミュニティ・ハッピーソーラー(寄付金支援型ソーラー発電所)

ユニークな試みとして、地域発電所(みつばちソーラーを含めて4箇所)で2013~2016年に実施した。建設費の約1割を寄付していただき、運営者は当初の運転資金として運用し、利益の中からお礼として地域で購入した農産物を寄付者にお返しし、寄付者、地域の人、運営者の三者に喜ばれた。(添付資料2コミュニティ・ハッピーソーラー)このシステムは2019年に木質バイオマスボイラーを導入した第三セクターでも「コミュニティ・ハッピーボイラー」でも実施した。



・小水力発電所導入:45kW(徳島県内自治体所有、他に計画中)

主に徳島県内の適地を調査した。一般に小型の小水力発電の水車発電機は割高であるが、性能の割に価格が安いイタリア製の水車発電機を初めて導入した。



自者の特徴

・木質バイオマス熱利用(温水ボイラー)導入

これまでに設置完了したのは全国で14施設合計出力は2,315 kWであり、年間のCO₂排出量は年間2,050トンと推定される。(うち徳島県内は4施設、合計出力330 kW)

性能及び操作性に優れ、価格も妥当である木質バイオマスボイラーを探した結果、オーストリア製ボイラーの導入を進めている。写真は山梨県の設置例。その他、地域熱供給を目指して断熱性に優れた熱導管の導入も進めている。



・風力発電

風力発電では適地調査に加え、科学的根拠と社会的要因も含めたゾーニングマップ作成を行い、地域住民や利害者を含めた合意形成が重要である。2015～2017年に鳴門市、WWFジャパン等と共に地域主体の陸上風力の調査を実施した。その成果が次の手引き書である。

<https://www.wwf.or.jp/activities/activity/153.html>

[研修会等の実施]

・徳島地域

地域による再生可能エネルギーの利用には資金計画が欠かせないとの認識で、母体の活動当初2010年より計4回の「再エネ金融連続セミナー」を実施した。

その後も再生可能エネルギーの動向に関する話題を提供する講座を徳島市でほぼ毎年開催している。

テーマ:自治体への事業提案(2013)、北海道下川町(2015)、デンマークの挑戦(2016)、ドイツにおける自然エネルギー(2017)、日本と再生(2017)、再エネ投資(2018)

・徳島県以外

徳島地域エネルギーに在籍するバイオマス活用アドバイザーが、地域のエネルギー利活用と活性化、木質バイオマス熱利用について講演依頼を受けている。小水力発電や風力発電の研修会等でも担当者が講演を行っている。

自者の特徴

[補助事業の受託]

平成23年以来、再生可能エネルギー及び地域活性化活動に関する補助事業16件を受託している。(受託総額約8,900万円)また、これまでの活動に対して2015年の新エネルギー財団「新エネ大賞」をはじめ4件の賞を受賞した。(添付資料3 委託を受けた補助事業、授賞歴)

[地球環境基金] 「熱利用転換で環境を守り未来につなぐ木質バイオマス地域アライアンス」

木質バイオマス熱利用を全国的に推進していたが、2016年から上記の助成を受けており、2020年度が最終年度である。主な活動は、地域アライアンスの形成支援、木質バイオマスボイラー設置・メンテナンス技術者の養成、木質バイオマスボイラーの導入支援(調査、コンサルティング、設置・保守指導)

右図は徳島地域エネルギーが全国の木質バイオマス熱利用推進団体・企業を支援したことを模式的に示す図である。

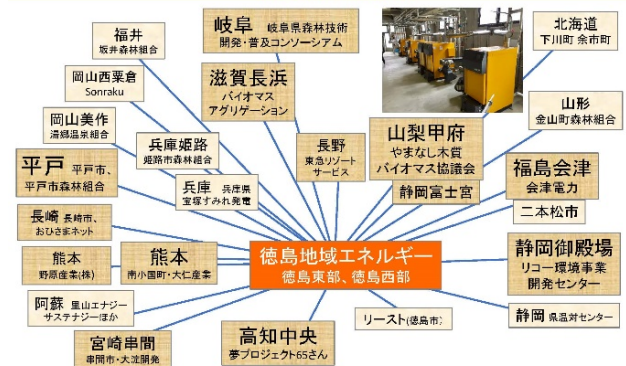
2016年の活動開始以降、4年目の2019年度までに、九州から北海道までの67施設^{*)}において新規導入・化石燃料ボイラーからの転換簡易調査を実施した。また、コンサルティング、設計支援、導入支援、設置・保守支援を行ったのは20施設であり、設計上の合計出力は2,350kW(CO₂排出削減量は推定約2,110トンであった)。

そのうち11施設の合計出力2,055kWが2019年度内に竣工した(推定CO₂排出削減量約1,850トン)。多くの施設では地域や自社で製造する木質チップやペレットを燃料とし、石油系燃料より安価であり、しかもその対価が地域に環流している。

^{*)} 地球環境基金の枠外で実施した新規導入・化石燃料ボイラーからの転換簡易調査は約25施設あった。



全国の 木質バイオマス熱利用地域アライアンス (地域と中心団体)



自者の特徴

[佐那河内バイオマスラボ] (木質バイオマス実験・研修施設)

当法人の事務所から車で25分の徳島県佐那河内村に、出力50 kWの木質チップボイラーを設置したラボがあり、各地域の木質燃料(竹を含む)の燃焼実験、整備・保守技術の実地研修に使用している。また、座学の研修スペースも併設している。2016年の開設当初は年間300人以上、その後も研修者・見学者を受け入れている。



[今後の組織的な取り組み]

木質バイオマス熱利用は推進する組織がまだ少なく、「地域アライアンス」の取り組みでは当法人が日本各地を訪問している状況である。そこで、木質バイオマス熱利用に熱心な企業及び地域団体とネットワーク「(仮称)ETAジャパンネットワーク」を形成し、木質バイオマスボイラーの普及導入を図る。具体的には、技術情報の共有、研修会等の共催、導入支援、輸入販売支援を行う予定である。今年度の発足を予定しており、これにより一層の普及が可能になると期待される。

SDGs経営に向けた自
者の課題や悩み

SDGsの思想やターゲットは、徳島地域エネルギーが目指していたことと一致する。今後も経営に趣旨を生かしていきたい。

パリ協定のCO₂排出削減目標の達成のために、再生可能エネルギーの利活用は直接的な効果が大きく、迅速に対応すべき課題である。短期的な利益だけにとらわれることなく、関係者の合意が得られるバランスの取れた解決策を進めていきたい。

[スタッフ]

- 当法人には以下の資格を有する技術職員が在籍している。
電気主任技術者、ボイラー技士、エネルギー管理士(電気、熱)、電気工事士、バイオマス活用アドバイザー、危険物取扱主任者、エックス線作業主任者
今後、木質バイオマス熱利用の推進を継続的に行うために、必要な専門技術者を養成する予定である。
- 今後の求められる機能
コンサルティング機能とボイラー導入に関する設計・施工管理の機能を充実する必要があると考えている。

ローカルSDGsの実現
に貢献できるソリュー
ション

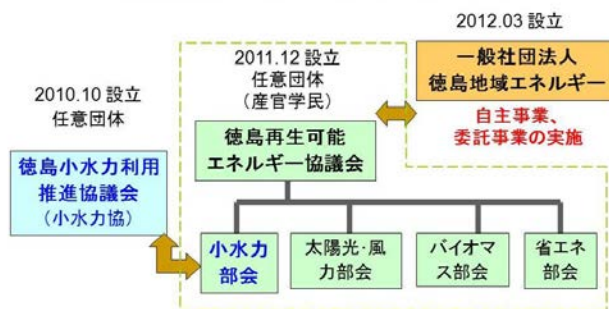
- 再生可能エネルギー全エネルギー種の利活用の推進に亘って、調査及び提案します。
- 木質バイオマス熱利用については以下のソリューションを提供します。
 - (1) 木質バイオマス転換診断をします。(既存熱利用量の調査を含む)
 - (2) 木質バイオマスを導入しようとする企業・団体に、経済性第一の新施設の計画を策定します。
 - (3) 具体的な計画図面を作成し計画のイニシャルコスト、運転コスト、収益を積算します。
 - (4) 地域熱供給の計画、費用計算を行います。
 - (5) 複数施設に導入し、熱供給事業者となろうとする企業・団体に、計画策定及び収支計算を行います。
 - (6) 地域として導入しようとする場合、地域アライアンスの設立支援を行います。
 - (7) SDGsの意味を理解し、全国でバイオマスボイラーの導入を行おうとする起業者に、ETAネットワークジャパンのソリューションを提供します。
 - (8) 木質バイオマスボイラーの理論研修、診断研修を行います。
 - (9) 木質バイオマスボイラー設置研修(国内、国外)を行います。

徳島再生可能エネルギー協議会

再生可能エネルギーの普及と実践に携わる産官学民の有志で構成されています。再生可能エネルギー事業の勉強や情報交換を幅広く行い、さらには公共的な再生可能エネルギーの事業化の企画を行います。

2011年からの環境省補助事業「地域主導型再生可能エネルギー事業化推進事業」の受託を機会に、徳島小水力利用推進協議会を母体として、再生可能エネルギー関連会社、大学・高専、自治体及び金融機関を加えて同年12月に設立されました。4つの部会（風力・太陽光部会、小水力部会、木質バイオマス部会、再エネ部会）を設けて再生可能エネルギー全般に関する活動を開始しました。

徳島の再生可能エネルギー関連団体



一般社団法人徳島地域エネルギー

地域主導型の再生可能エネルギー事業を自ら実施するための法人として、2012年3月に設立されました。私たちは、地域の自然エネルギーや再生可能エネルギーを地域の意志で開発して利用し、地域の人々が利益を享受できることを目的としています。太陽光、風力、小水力、木質バイオマス熱利用の広範囲にわたり、再生可能エネルギーの導入支援、温暖化防止をはじめ環境に配慮した持続可能な開発計画を行う、統括的な地域センターをめざしています。

太陽光発電

2012年の固定価格買取制度の開始を機会に、地元団体や地元資本による太陽光発電の導入支援を始めました。徳島県内に31箇所、合計出力約18MWの太陽光発電所の建設をコーディネートしました（2017年6月末）。コーディネート費、自社所有発電所からの売電益、及び受託した保安管理・維持管理業務費は、本法人の活動のための収入源となっています。



コミュニティ・ハッピーソーラー

寄付による資金募集と地域特産物を組み合わせた、新しい再生可能エネルギー導入事業の例です。地域の団体が未利用公有地等を利用し、建設費の約10%を寄付金で募集し、建設します。売電益によるお礼産品購入や、直接的支援等により、地域を活性化します。寄付金型地域還元事業モデルは、太陽光発電だけでなく、他の再エネ利用事業にも応用できると考えています。

風力発電

徳島県佐那河内村の民間ウインドファームに隣接する村有地に、自治体主体の風車を建設する計画を支援しています。また、鳴門市、WWFジャパン、地域NPOと共に、環境に配慮した再生可能エネルギー利用のゾーニングマップを作成しています。徳島県内の陸上型及び洋上型の大型風力発電の持続可能な開発モデル作りを模索しています。



小水力発電

徳島県内各所で発電所の適地調査を行い、事業性調査を実施しています。佐那河内村では出力45kWの新府能小水力発電所が2015年10月に完成しました。売電益は集落排水施設の維持等、村民の生活のために使われています。

木質バイオマス熱利用

2012年、性能と経済性に優れた乾燥チップボイラーをオーストリアから直輸入し、吉野川市の医療・福祉施設に設置しました。その後も導入・転換調査、導入計画作成等の支援をしており、2017年6月現在、徳島県内外の4か所に合計450kWの木質バイオマスボイラーを設置しました。また、間伐材、未利用林材を燃料に利用すると同時に森林を育成する等、木質バイオマス熱利用を各地域で統合的に行う地域アライアンスの形成を全国各地で支援しています。



徳島地域エネルギー が推進する 収益地域還元型ソーラー の新モデル

コミュニティ・ハッピーソーラー

- しくみ**
- ① 市民から1口1万円の寄付金をいただく。
⇒ 出資金ではないので、運転資金としてソーラーを建設
 - ② FIT による売電収益で、発電開始後5年間地域の特産物を贈る。
⇒ 寄付者にはお礼、産品を地元で調達（地域産業の応援）
 - ③ 6,7年目から20年目、売電収益で地域と産業を支援する。
⇒ 寄付者、事業者、地域の三方よし

背景

- ・地域の遊休地等で、地域のための太陽光発電をしたい。
- ・地域に設立・経営ノウハウがなく、資金もない。
- ・少額でも応援したい市民がいる。
- ・少額出資はファンド設定のコストがかさむ。

⇒ 徳島地域エネルギーが寄付金ソーラーで支援する



コミュニティ・ハッピーソーラーの 実績 (合計2,425 kW)

発電所名	所在地	立地	出力kW	完成年月	事業形態・特徴
佐那河内みつばちソーラー	佐那河内村	村有遊休地	120	H26年3月	CHS*、SPC、募集300口
海のソーラー牟岐	牟岐町	校舎屋上	42	H26年6月	CHS*、地域エネ**、募集300口
		町有遊休地	48	H26年11月	
ゆずの里発電所	那賀町	民間遊休地	500	H27年2月	CHS*、地元設立SPC、募集2000口
		町有遊休地			
鳴門太陽光	鳴門市	市有遊休地	250	H26年10月	当初CHS*、商会議事所運営に変更、寄付金募集なし
		市有遊休地	500	H26年度	
上勝	上勝町	農地	800	計画中	CHS*、地域エネ**
鳴門市	鳴門市	校舎屋上(4箇所)	計165	H27年秋	CHS*、地域エネ**

CHS*:コミュニティ・ハッピーソーラー、地域エネ**:一般社団法人徳島地域エネルギー

第1号 (株)佐那河内みつばちソーラー発電所

徳島地域エネルギー主体で SPC を設立

出力 120kW、H26年3月運転開始
 総事業費約 3700万円、寄付金 320口-320万円
 資本金 50万円、工事費は金融機関の融資でまかなう。

2~6年目の収益: 寄付者にお礼、余剰は村の基金に寄付
 7~20年目の収益: 村の環境基金に寄付し農村を支援
 20年後: 撤去又は地域に無償譲渡



太陽光発電所を建設する寄付金を募集します

佐那河内みつばちソーラー発電所

高効率・高信頼性が続く「ふるさと」を応援したい。みつばちソーラーへの寄付は皆様の思いに応えます。皆様の寄付金は、このソーラー発電所立ち上げの貴重な資金となります。

寄付金額 1口1万円

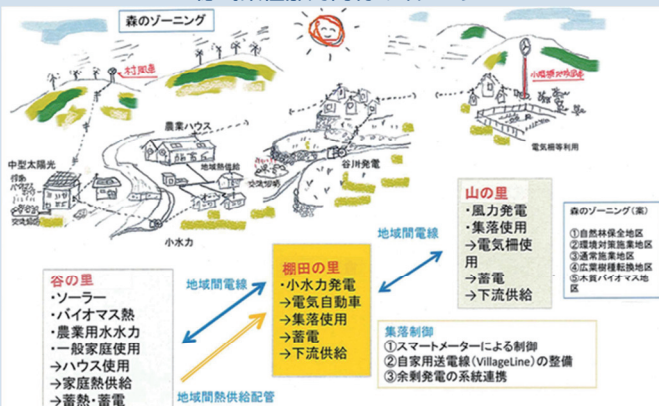
募集期間 8月1日から9月30日まで

※募集期間中に募集額が足りず、募集の中止を覚悟していただきます。募集額が足りた場合は、募集終了後1週間以内にお知らせいたします。募集額が足りた場合は、募集終了後1週間以内にお知らせいたします。

※募集期間中に募集額が足りず、募集の中止を覚悟していただきます。募集額が足りた場合は、募集終了後1週間以内にお知らせいたします。

※募集期間中に募集額が足りず、募集の中止を覚悟していただきます。募集額が足りた場合は、募集終了後1週間以内にお知らせいたします。

徳島地域エネルギーが考える 地域の再生エネルギー利用 徳島県佐那河内村のイメージ



コミュニティ・ハッピーソーラーは 全国へ!

- ・志を同じくする団体との提携
- ・コミュニティ発電のノウハウ共有
- ・応援先(地域)選択の多様化
- ・特産品の相互交換(地元寄付者のために)

地域のための再生可能エネルギー利用を更に推進する

一般社団法人 徳島地域エネルギー
 〒770-0935 徳島市伊月町1丁目32 土地改良会館5階
 TEL 088-624-8375、FAX 088-624-8395
<http://www.tene.jp> saiene.tokushima@gmail.com



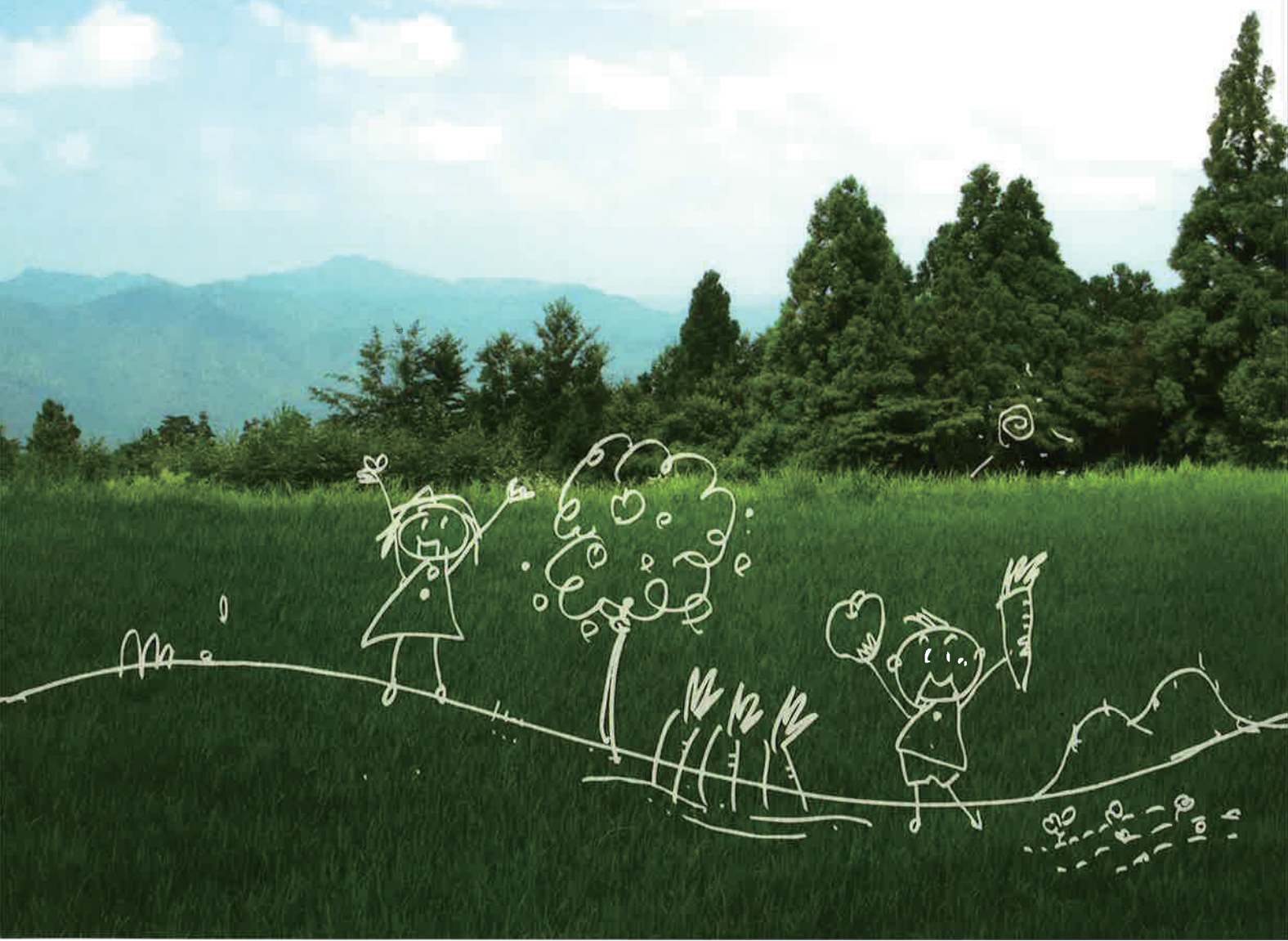
Community Happy Solar

Tokushima Regional Energy General Incorporated Association

あなたのソーラー発電へのご寄付が、
地域の農林水産業を応援します。

コミュニティハッピーソーラーのご案内

一般社団法人 徳島地域エネルギー



コミュニティハッピーソーラーの趣旨

太陽光、風力、水力等の再生可能エネルギーは、気候変動(地球温暖化)への影響が小さく、枯渇の恐れもないことから、社会の持続的な発展に欠かせないものです。特に平成23年の東日本大震災以降、ますますその重要性が高まっています。

平成24年7月に固定価格買取制度(FIT)が始まり、大手資本の大規模開発が相次いでいます。しかし、自然エネルギーは地域への恵みであり、その恩恵は地域にもたらされるのが本来の姿です。

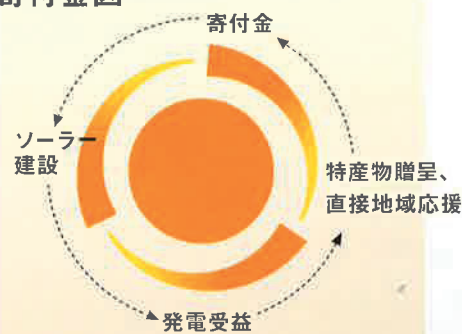
私たち一般社団法人徳島地域エネルギーは、人口減少や高齢化社会に直面しながらも、ふるさとの自然を守り、社会と産業を維持・振興しようと頑張っている中山間地域や漁村の人たちを応援するため、コミュニティハッピーソーラーの事業を提案します。



1 はじめに

みなさまにはソーラー発電に寄付いただきます。私たちはソーラー発電所の建設と運営を行います。またソーラー発電の売電益で、地域を応援していきます。みなさまからの寄付金は事業の立ち上げ資金にさせていただきます。

寄付金図



あなたの寄付が、中山間地域の

2 特産物

順調に発電が開始されてから、ご寄付をいただいた方に地域の安全安心な特産物(農産物、水産物等)を送ります。この特産物を地域から購入することでもまた、地域の産業を応援することになります。

(※発電が順調でなかったときは、お送りする商品に変動があったり、お送りできない場合もあります。)



※写真はイメージです。

3 地域応援

発電による利益から、農林水産業に対する支援を行います。長期にわたる天候不順等で、ソーラー発電の発電量が予定通り得られない場合は、支援できる額は変わってきます。

発電量、売電益を皆様に公開すると共に、支援の方法は、地域の公共団体と農業団体を入れた「運営協議会」で意見を伺い決定します。発電量で可能な範囲の地域応援を行います。

運営協議会図

事業会社責任者

↓ 諮問 ↑ 答申

運営協議会

・地方自治体・農業団体
・地域団体・学識経験者等

寄付金について

1. 農山漁村の支援についてご理解のある方から1口1万円の寄付を募ります。口数に制限は設けませんので、何口でも結構です。募集口数については、事業規模から判断して適切な数量とします。
2. 寄付をされる方はどなたでも結構です。
 - 地域在住者、徳島県在住者、徳島県外在住者
 - ご本人、子供さん、お孫さんなど
3. お礼の送り先
特産物のお礼の送り先も1口ごとに設定できます。
4. 寄付をいただいた方は感謝の意味を含め、発電所にお名前を掲示します。
5. 寄付金はソーラー発電所の運営資金に使います。

経済の好循環を支えます。

Q - 1
どのような
農林水産業支援が
されるのですか。

◎ A 地域で事業計画を作っていきます。支援の内容はこの事業によって違ってきます。佐那河内村で行う事業は、低炭素農業のためのレンゲの種代の支援や、村の環境基金への寄付が予定されています。具体的内容は、事業ごとに開催する「運営協議会」で決定します。

Q - 2
お礼の特産物ですが、
いくらぐらいの額に
なりますか。

◎ A 額についてはお約束できません。あくまでプラスアルファと考えてください。総額の上限は寄付額とし、天候の状況や災害などで、ゼロになる場合もあると考えます。お礼の特産物は努力して送ることとしていますが、発電状況を見ながら決定して参ります。

Q - 3
この事業の実施主体は、
だれですか。

◎ A 原則として、地域ごとに地域が参画した「発電目的の株式会社等」を作り、その会社等の責任で、寄付金では足りない部分について事業資金の融資を受けて事業を実施します。発電所の管理については、専門家のいる一般社団法人徳島地域エネルギーが委託を受けて管理します。

Q - 4
一般社団法人徳島地域
エネルギーとは、
どのような団体ですか。

◎ A 徳島県内で再生可能エネルギーを推進する団体です。産官学民で平成23年12月に設立した徳島再生可能エネルギー協議会の運営団体でもあります。太陽光発電、小水力発電、風力発電、バイオマスエネルギー等に取り組んでいます。

本事業についてご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

一般社団法人 徳島地域エネルギー

Tokushima Regional Energy General Incorporated Association

770-0935 徳島県徳島市伊月町1-32 土地改良会館5F

TEL. 070-5687-2375 URL. <http://tene.jp/>



2020年7月現在
一般社団法人徳島地域エネルギー

委託及び交付を受けた補助事業

年度	事業名	金額 (万円)	対象
平成 23	地域主導型再生可能エネルギー事業化検討委託業務 (環境省)	1000	再エネ 全般
平成 24	地域主導型再生可能エネルギー事業化検討委託業務 (環境省)	1000	再エネ 全般
平成 24	再生可能エネルギー発電事業を通じた地域活性化モデル開発 支援調査事業 (経済産業省)	350	風力
平成 25	地域主導型再生可能エネルギー事業化検討委託業務 (環境省)	1000	再エネ 全般
平成 25	地域バイオマス産業化推進事業 (地域バイオマス産業化支援事 業) (農林水産省)	209	木質 バイオマス
平成 25	農山村漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業 (農山漁村 活性化再生可能エネルギー事業化推進事業) (農林水産省)	527	小水力
平成 26	農山村漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業 (農山漁村 活性化再生可能エネルギー事業化推進事業) (農林水産省)	402	小水力
平成 26	新エネルギー等共通基盤整備促進事業 地域における再生可 能エネルギー導入支援事業 (CHS) (経済産業省)	460	太陽光
平成 27	農山村漁村活性化再生可能エネルギー総合推進事業 (農山漁村 活性化再生可能エネルギー事業化推進事業) (農林水産省)	599	小水力
平成 28	地球環境基金 総合環境保全活動ーフロントランナー助成ー (環境省)	600	木質 バイオマス
平成 28	「とくしま回帰」推進支援交付金 (バイオマスラボ) (徳島県)	116	木質 バイオマス
平成 29	地球環境基金 総合環境保全活動ーフロントランナー助成ー (環境省)	600	木質 バイオマス
平成 30	地球環境基金 総合環境保全活動ーフロントランナー助成ー (環境省)	600	木質 バイオマス
平成 30	「とくしま回帰」加速強化交付金ー自立分散型脱炭素「とくし まモデル」の構築と学びと研鑽の拠点づくり事業ー (徳島県)	200	再エネ 全般
2019 平成 31	地球環境基金 総合環境保全活動ーフロントランナー助成ー (環境省)	620	木質 バイオマス
2020 令和 2	地球環境基金 総合環境保全活動ーフロントランナー助成ー (環境省)	660	木質 バイオマス

受賞歴

年度	授与団体・賞名・受賞活動名
平成 27	一般社団法人 自然エネルギー財団 ・ 「新エネ大賞」新エネルギー財団会長賞 「地域を支援する寄付金型ソーラー コミュニティ・ハッピーソーラーの普及」
平成 29	原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟 ・ 「自然エネルギー大賞」金賞 一般社団法人 徳島地域エネルギーの活動全般
平成 30	環境省 2018年「グッドライフアワード 環境社会イノベーション賞 「木質バイオマス熱利用地域アライアンス（山梨～徳島）」
平成 30	公益財団法人明日の日本を創る会 あしたのまち・くらしづくり活動賞・振興奨励賞